

泉台児童クラブ  
たたみ  
畳、入りました!



次ページの記事も...



...ご覧下さい!

## 「児童……何だっけ?」

### 「飯山市児童センター等愛称募集」

飯山市には、社協運営の7つの児童センター・館・クラブと、独自の運営委員会が運営している「常盤のびのび自遊館」と、合わせて8つの「放課後児童更生施設」があります。皆さん、これらの正式名称や機能をご存知ですか? 詳しくは飯山市又は社協のホームページ等をご覧いただきたいのですが、カンタンに言いますと……

#### 児童センター等って…

『児童センター』と『児童館』は、「児童(18歳以下の者)」であれば誰でも来て利用することのできる施設です。この児童のことを「一般(利用)児童」又は「自

由来館児童」と呼んでいます。ちなみに、「センター」と「館」の呼び方は、その面積等で変わります。それに対して、『児童クラブ』は、放課後の保護の手が無い児童が登録し、利用できる施設です。飯山市では、『センター』と『館』に『クラブ』の機能をもたせています。つまり、飯山市には8つの児童クラブがあるのです。そして、『センター』と『館』には、先にも書きましたとおり、一般利用児童の利用もするため、登録児童と一般利用児童が混在しているのです。



いい名前をお願いしま〜す!!

も行けるけどあつちはそうじゃない…。「ちよつと呼び名が分かりづらい」という声をいただくこともしばしばあります。利用している児童や保護者の皆さんは、単に「児童(じどう)」と呼んでいる方が多いようです。これは、その役割や機能が、利用者にも浸透していない証拠ではないでしょうか。PR不足は否めないとこころではあります…。

#### そこで…

8つの飯山市児童クラブの総称(愛称)を募集します。次の①〜⑤の案の中から良いと思うものを選んでいただければと思います。

- ① 子どもの家〇〇
- ② 子どもの森〇〇
- ③ なかよし広場〇〇
- ④ ii(アイアイ)広場〇〇
- ⑤ キッズハウス〇〇
- ⑥ その他(アイデアがあれば)

〇〇の中には、現在の各児童センター等の名前(地区名等)が入ります。例えば、「子どもの家上町」とか、あるいはひっくり返して「上町子どもの家」とか…。

## 見守りとうど衆研修会

飯山市社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた場所で安心して生活が送れるように、住民同士の支え合いの地域づくりを目指して現在活動をすすめています。住民同士の支え合い活動

の「見守りとうど衆」の活動が、隣組長等、ボランティア活動者の皆さんに協力を頂き、飯山市内の1300名余りの方に登録をいただいています。この「見守りとうど衆」の活動を通じて、支え合

いや交流の輪が広がることや、隣近所の絆をさらに深めていただくことを目的としています。当研修会は、毎年この時期に日常的な課題や解決策について学び合う機会として開催しています。どなたでも、どの会場でも、ご参加頂けますので、都合のつく日にお出掛け下さい。

## 協定締結

1月22日(木)に、社団法人みゆき野青年会議所(JC)と飯山市・栄村・野沢温泉村の1市2村の社会福祉協議会による災害協定が結ばれました。

この協定は、以下のような目的をもって結ばれました。

【目的】(協定書より抜粋) この協定は災害時ににおいて「社会福祉法人 飯山市社会福祉協議会」と



右から、坂東・みゆき野JC会長、岸田・飯山市社協会長、河野・野沢温泉村社協会長、島田・栄村社協会長

平成20年度 見守りとうど衆研修会			
内容	講師	日時	会場
1 開会 2 あいさつ 3 講演 テーマ 【次世代への贈り物】 「自然と調和しながら生きてきた知恵」	飯山小学校 校長 清水 岩夫氏	2月24日(火) 午後7時00分～ 8時30分	秋津地区 活性化センター
	長野県農村文化協会 常務理事 池田 玲子氏	2月20日(金) 午後7時00分～ 8時30分	木島地区 活性化センター
	飯山人権擁護委員協議会 会長 市村 明彦氏	2月17日(火) 午後7時00分～ 8時30分	瑞穂地区 活性化センター
	飯山小学校 校長 清水 岩夫氏	2月25日(水) 午後1時30分～ 3時00分	富倉地区 活性化センター
	長野県農村文化協会 常務理事 池田 玲子氏	2月26日(木) 午後7時00分～ 8時30分	外様地区 活性化センター
	長野県農村文化協会 常務理事 池田 玲子氏	2月16日(月) 午後7時00分～ 8時30分	常盤地区 活性化センター
	飯山人権擁護委員協議会 会長 市村 明彦氏	2月18日(水) 午後7時00分～ 8時30分	岡山地区 活性化センター

※富倉地区会場のみ、午後1時30分～3時00分の研修会となりますのでご確認下さい。



協定書に署名する各代表者  
(右から2番目が岸田会長)

「社団法人 みゆき野青年会議所」が協力して災害支援及び救援支援活動を行うことを目的とする。

災害発生時にはJCと各市村が協力して、組織立って被災地に出向き、支援を行う、ということです。今後、木島平村社協とも協定に向けて話をすすめていくそうです。

つまり、「困った時はお互い助け合おう」ということです。